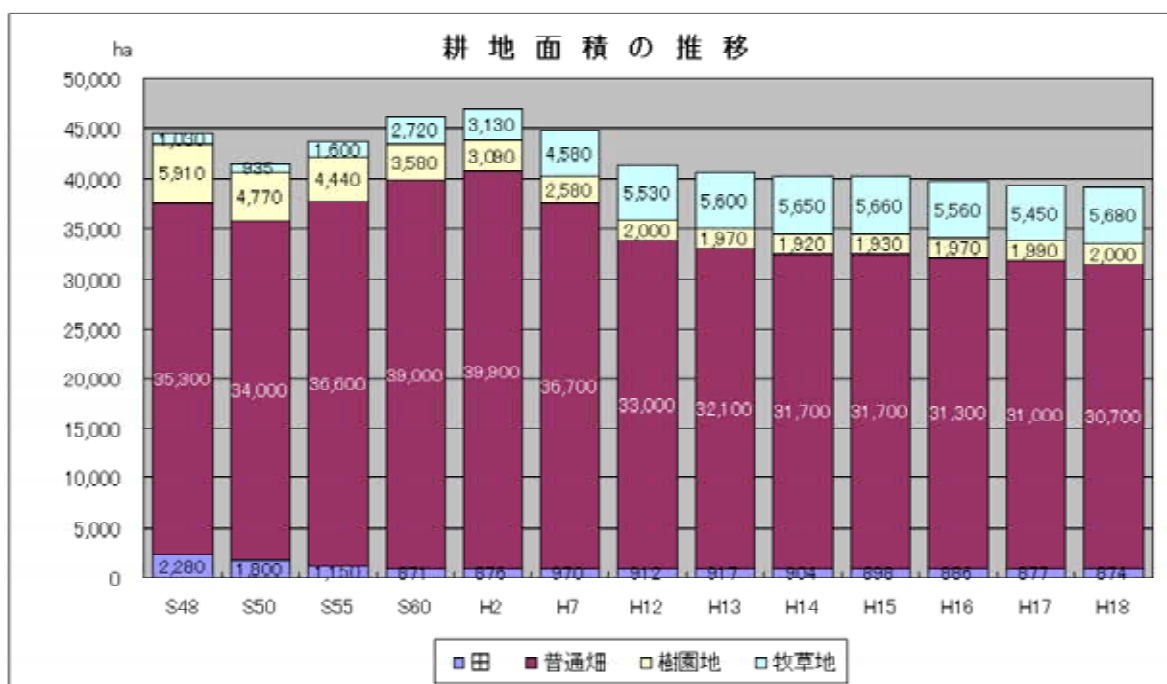


ウ 耕地面積

本県の耕地面積は、復帰直後の農外土地需要の増大によってかい廃が進み、大きく減少したが、農地の買戻しや生産基盤整備等により平成2年には47,000ha台まで回復した。しかしながら、その後は都市化の進展、農業就業者の減少・高齢化による耕作放棄地等の増加などにより耕地面積は再び減少傾向に転じており、平成18年は39,200haとなっている。中でも、さとうきび、パインアップル等の減少により、普通畑・樹園地が減少している状況にある。

今後とも、農業生産の基盤となる優良農地の確保に努める必要がある。



資料：昭和48年は農林水産省「農業動態調査」、昭和50年以降は農林水産省「耕地及び作付面積統計」

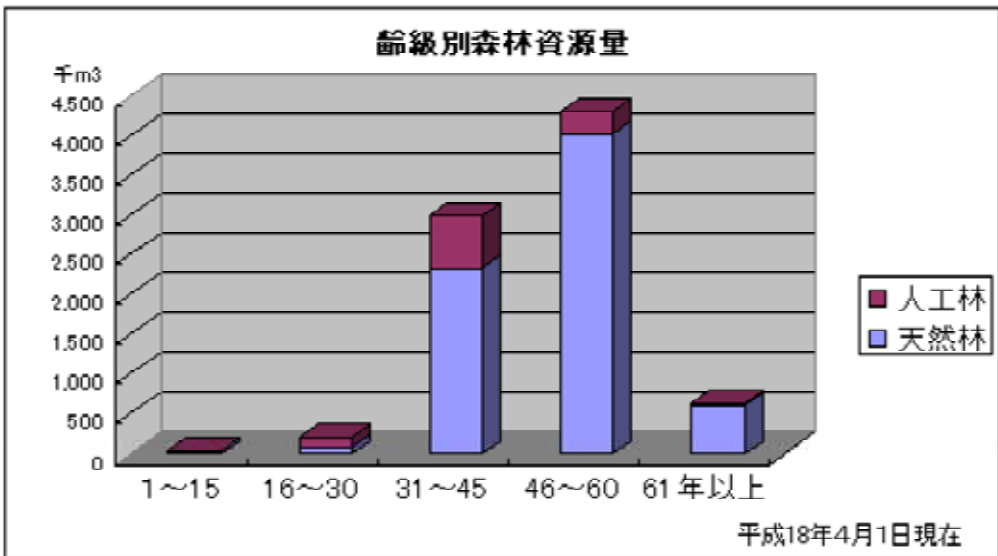
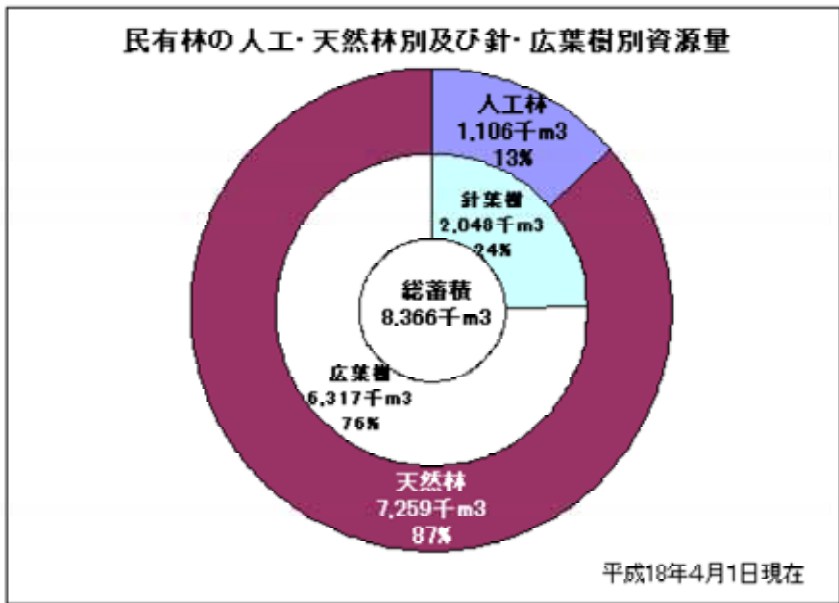
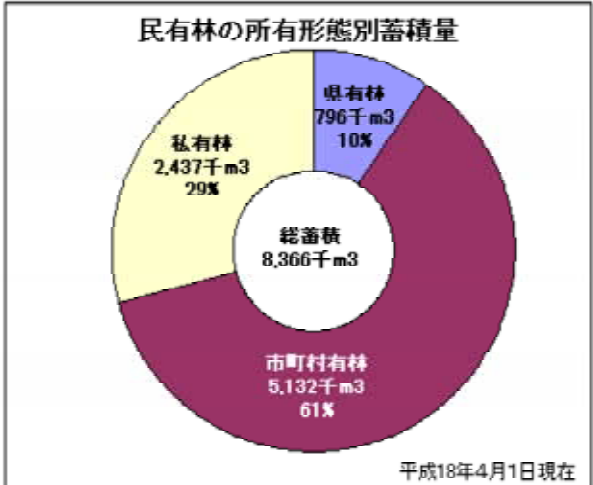
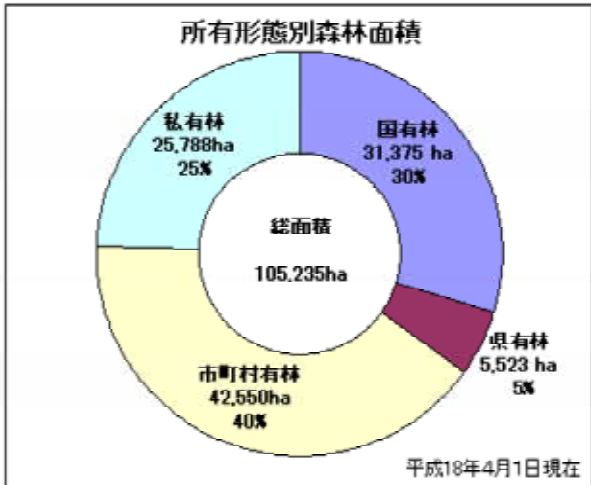
(2) 林業の現状と課題

ア 森林資源

本県における平成18年の森林面積は、105,235haでこのうち民有林73,860ha(70%)、国有林が31,375ha(30%)となっている。民有林における森林資源(蓄積)量は8,366千 m^3 で、人工林は13%となっている。また、民有林における森林資源を所有形態別にみた場合、市町村有林61%、私有林29%、県有林10%となり、市町村有林が高い比率を占めている。

本県の森林は、戦中戦後の乱伐によって著しく荒廃したが、これまでの造林の推進や保安林の整備等により漸次回復しつつある。

今後、県民の森林に対する期待と関心の高まりを踏まえ、森林の多面的機能の高度発揮や林業の持続的かつ健全な発展を図るため、森林の整備・保全を推進するとともに、森林資源の利活用を促進していくことが課題となっている。



資料：県森林緑地課「沖縄の森林・林業」